

# なんぶ 鳥取県 南部町 虹色マップ

母塚山のイザナミ御陵伝説、手間山周辺に伝わる  
オオクニヌシ復活の伝説など、興味深い神話が伝わる南部町。  
江戸時代には法勝寺宿と手間宿、ふたつの宿場町が栄え、  
一式飾りや法勝寺歌舞伎、伊勢大神楽、小松谷盆踊りなど  
伝統文化も今日まで脈々と続いています。

法勝寺川土手から緑水湖まで約1600本もの桜が咲き誇る春、  
金田川周辺に復活したホタルが幻想的に乱舞する初夏、  
なだらかな丘陵地一面に富有柿がたわわに実をつける秋、  
収穫に感謝する申し上げ神事や炭焼きが行われる冬…。

自然と人が程よく調和した里山の風景と  
ゆたかな歴史文化、人々のつながりや絆、  
やさしさやおもてなしの心…、  
虹の色にも似た多彩な魅力に  
あふれるここ南部町で、  
あなたもやさしい時間を  
体验してみませんか？

## HOTARU

## 南部町の彩時記

春  
さくら祭り ●4月上旬  
法勝寺一式飾り ●4月第2土曜日・日曜日  
春の山菜を楽しむ会 ●4月下旬

夏  
金田川ホタル ●6月上旬  
水無月さん ●7月31日  
なんぶ町民花火大会 ●8月中旬  
小松谷盆踊り ●8月17日

秋  
秋の山菜を楽しむ会 ●10月中旬  
南部町緑水湖健康マラソン大会 ●10月中旬  
法勝寺歌舞伎定期公演 ●10月  
かまくらふれあい祭り ●11月3日  
全国柿の種吹きとばし大会 ●11月23日  
馬佐良の申し上げ ●12月

## とっとり花回廊



## 特産センター野の花

とっとり花回廊車内にあり、南部町の特産品も数多く取り扱っています。柿ソフクリー、古代米ソフトクリーは人気です。

◆営業時間：9:00～17:00

◆休日：毎週火曜日（12月～3月）

◆TEL: 0859-48-3087

## ブルーベリーもぎ採り農園

話題の新規分譲地、ガリフェールたっぷりの  
ブルーベリーのまきをまるもじ、大地と  
風の音ひびきほどの紫色の宝石をどうぞご  
賞味ください。（6月中旬～8月上旬頃まで）

◆料金：入園無料、持ち帰り1kg/1,000円（完熟予約制）

◆申込：（ごしきのブルーベリー生産組合

野口晃 TEL: 090-9067-1280

## CAR アクセスマップ



## 西洋の町

〒683-0361 鳥取県西伯郡南部町法勝寺377-1  
TEL.0859-66-3113, FAX.0859-66-4426  
南部町→http://www.town.nanbu.tottori.jp

## 南部町の味自慢

グルメ・特産品

梨



JA鳥取西部あいみ果実部会・道場果 TEL.0859-64-2335  
梨農家が丹精込めて育てた、香り・甘み・果汁とも申し分のない梨をぜひ一度、ご賞味ください。

富有柿



南部町の富有柿は、大きさといい、味といい、一度口にしたは忘れられないほどの絶品です。

ししマン



高タンパク低脂肪のイノシシの肉を、もちもちの生地で包みました。熱いうちに召し上がり。◆緑水園 TEL.0859-66-5111  
JA鳥取西部あいみ果実部会・道場果 TEL.0859-64-2335  
豆のもつ味を大切にした手作りの豆腐。折り紙入りの美味しい商品です。◆りんご園 TEL.0859-66-5111  
JA鳥取西部あいみ果実部会・道場果 TEL.0859-64-2335

## いちじくジャム



いちじくの風味をそのままに詰め込んだ逸品。もちろん、いちじくは地元産のものを使用。◆緑水園 TEL.0859-66-5111  
◆めぐみの里直売所 TEL.0859-66-5111  
◆南部町農業協同組合 TEL.0859-66-2165  
南さいはい地域振興協議会 TEL.0859-66-5115  
深山育ちのウドのシャキシャキ感、甘さ控えめな白財とほろ苦いウドの絶妙な味わいをお楽しみください。

## オオサンショウウオ



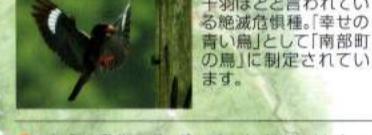
「生きる化石」と呼ばれ、特別天然記念物に指定されています。

## コハクチョウ



中海は集団越冬地としては日本の南限で、飛来を求めて南部町にも飛来します。

## ブッポウソウ



日本全国で飛来数が千羽ほどと言われる希少種。幸せの青い鳥として南部町の鳥に制定されています。

## ギフチョウ



これらの動物の他、ギフチョウ、サカユリ、ヤマシタクヤクなどを見ることもでき、人と動植物が共存する里山の自然が南部町にはあります。

## 南部町の貴重な動植物

### 南部町の七つのエリア

SINWA  
南部町  
母塚山から望む大山

虹色マップでは全て  
上を南、下を北として  
表記しています。

自然と人が程よく調和した里山の風景と  
ゆたかな歴史文化、人々のつながりや絆、  
やさしさやおもてなしの心…、  
虹の色にも似た多彩な魅力に  
あふれるここ南部町で、  
あなたもやさしい時間を  
体验してみませんか？

虹色の輝きを放ちます。

## 南部町の四名山

津山市立山・大山・母塚山・錦倉山

「たたら製鉄」で栄えた村

# 金山集落～鎌倉山

日本の近代化を担った「たたら」の歴史

近隣の奥日野や奥出雲と並び、この地域もかつて「たたら製鉄」で栄え、幕末から明治初期に頂点を極めました。金山という地名は、「山を掘れば金になる」という気概で付けられたのでしょうか。その他周辺にも金ヶ崎など、たたらとのつながりを思われる集落がたくさんあります。昔あった牛子谷鉄山所、奥山鉄山所などの遺構を、いまは見ることはできませんが、集落内を歩くと往時の賑わいを偲ばせるものに巡りあえます。

## ●のびとハウス(奥山さん)

自然と向合うスローな暮らしを楽しむ奥山後二さん。米作りや野菜作りはもちろん、シタケ栽培や牛飼いも実践中。そんな、地域と自然に慈しむ奥山さんの日々の様子はブログでも好評発信中です。

ブログ「野人の(のびと)の日記」

<http://blog.zige.jp/syun/>



## ●金山神社

創立年不詳。祭神は経津主命(ツヌシノミコト)、武甕槌命(タケミカツチノミコト)。牛子大明神と称されていましたが、明治後に今の大社号に改められました。

■南部町役場企画政策課

TEL.0859-66-3113

いまでは山陰有数の蛍の名所に

# 金田川蛍の里

## ●熊野神社

イザナギ、イザナミの尊を祀る熊野神社。古くはイザナミの尊のみが祀られていましたが、池野の難波氏の先祖が、紀伊国熊野本宮の御分霊をうけて祀りされ、以来、熊野十二御分祠と称し、小松庄の産土神として崇敬されています。



## ●小松城跡

小松谷川上流域を支配していた小規模領主の城館。建武3(1336)年、出雲国造の軍勢が伯耆に侵入して小松城を攻め、城の門前で激しい戦いがあったと「出雲千家文書」に残されています。

## ●小松谷盆踊り

小松谷川に沿った地区に伝承されている古い形態の盆踊り。現在は8月17日の夜に「小松谷十七夜踊り」として雲光寺で踊られています。その発祥については、在地の城主が領民を慰めるために城内を開放して踊り明かしたという説と、雲光寺で本尊の縁日に念仏踊りをしたのが始まりとする説があります。背筋をまっすぐに伸ばした姿勢、足の運びに特色があり、太鼓の調子と歌にあわせて、しなやかで優美な振りで踊る素朴な盆踊りで、出雲県の無形民俗文化財に指定されています。

「尊神よみがえりの神話」にゆかりの場所

# 赤猪岩神社と清水井

オオクニヌシの再生の地、手間山

兄神たちに真っ赤に焼いた大岩を猪だと偽られ、だまされてそれに焼かれ、命を落としたオオクニヌシが、母神とふたりの女神の力によって生き返ったとされる「オオクニヌシ再生神話」。その舞台となったのが南部町手間で、古事記には「伯伎國之手間山」=「ほうきの国の手間(てま)の山峯」と記載されています。

## ●赤猪岩神社



「オオクニヌシ再生神話」を伝える神社です。境内は、椎の木やタブノキなどのうっそうとした巨木に囲まれており、お社の横の階段から、自然のパワーを感じながら一周することができます。



## ●比翼連理の樹

比翼連理とは男女の深い契りを表す言葉。根元が別々の木が幹の部分で合わさっている姿から、このように名付けられました。女神たちの想いにより、大國主命が復活・再生を遂げたという勇壮な神話です。

赤猪岩神社と清水井を結ぶ古道の途中に相応しい樹です。

## ●古道と赤子岩

赤猪岩神社と清水井を結ぶ古道の途中に相応しい樹です。

古道と赤子岩

お社の裏にはオオクニヌシの命を奪った大岩が、地中深くに封印されており、靈氣を感じます。大石で蓋がされ、周りには柵が巡らされ、しみなわが張られています。

●手間要害山

兄弟たちが赤く焼いた大岩をオオクニヌシに向けて落としたとされる山で、手間山・天万山とも呼ばれます。中世には山頂に11郭もの山陰最大級の山城があり、尼子・毛利氏の争奪戦が何度もあり、毛利方の武将・杉原景量が管轄しており、兵士ら約300名が入城していたと伝わっています。山頂まで約40分で登ることができます。

## ●清水井

ウムギヒメがオオクニヌシを蘇生する薬を練るための水を汲んだと伝えられる清水井。太古より枯れたことがないとい伝えられています。

## ◆日本最古の歴史書「古事記」

約1300年もの昔、和銅5(712)年に太安万侶(おおのやすまる)によって創被された日本最古の歴史書が古事記。その上巻には天地創造や天岩戸・ヤマノオロチ退治や因幡のシロウサギなどの有名な神話や歴史などが書かれ、出雲地方を舞台にした神話はその3分の1を占めています。

## ●日本最古の歴史書「古事記」

約1300年もの昔、和銅5(712)年に太安万侶(おおのやすまる)によって創被された日本最古の歴史書が古事記。その上巻には天地創造や天岩戸・ヤマノオロチ退治や因幡のシロウサギなどの有名な神話や歴史などが書かれ、出雲地方を舞台にした神話はその3分の1を占めています。

●日本最古の歴史書「古事記」

約1300年もの昔、和銅5(712)年に太安万侶(おおのやすまる)によって創被された